

業務執行の仕組み

経営上の意思決定

経営上の最高意思決定機関である取締役会を毎月開催するほか、取締役会および代表取締役社長 執行役員を補佐する経営会議を設置し、業務上の重要事項を審議します。さらに、テーマ・分野ごとに経営会議から委嘱を受けた各種重要会議・委員会を設置し、グループ全体の重要方針を策定・周知徹底し、モニタリングする取り組みを開始しています。経営会議および各種重要会議・委員会は、多様性のあるメンバーにより議論をしたうえで意思決定ができる仕組みにしています。

グループ経営の基本的な考え方

当社グループは、以前からグループ内での意思決定のルールを運用してきましたが、持続的成長と企業価値の向上を実現するためには、グループを構成する会社が主体的に多様な個性を発揮しながら、より一層グループ全体の方針のもとで相互に協力していくことが重要であると考えます。

そこで、2020年1月に、グループ経営の基本指針を策定し、基本的な考え方やグループ内の各組織の役割・責任を明文化しました。さらに、2021年度からのグループ体制の見直しとともない内容を一部変更し、グループ経営の基本的な考え方として、2021年4月に改訂しました。

グループ経営の基本的な考え方

- 1 グループの理念は、グループ共通の最上位概念とする
- 2 「キューピーブランド」はグループの象徴であり、かけがえのない大切な資産として、グループ全体で育む
- 3 グループの持続的成長に向けて、グループ全体の方針と戦略に沿った経営を徹底する
- 4 人材・設備・資金・技術・情報等はグループ共通の資産と位置づけ、全体最適の視点で活用する
- 5 キューピー株式会社は、グループ経営を牽引する

各担当役員・統括の役割

当社グループでは、目まぐるしく変わる経営環境に的確に対応し、持続的な成長と企業価値の向上を実現するため、「役割と責任に基づくスピーディーな意思決定と施策の遂行」を掲げて、業務執行の効率化と実効化に取り組んでいます。

その一環として、グループ全体に対する施策の立案と遂行に責任を有する担当役員・統括の役割を明確化しています(主要なもの以下のとおり)。

コーポレート担当	グループ全体の企業価値向上、グループ経営の推進に向けた舵取りの役割を担う。 ▶コーポレート・ガバナンスに関する施策の立案・推進 ▶グループガバナンスに関する施策の立案・推進
研究開発担当	グループ全体の技術開発・商品開発を統制・推進する役割を担う。 ▶新商品創出、新技術の開発と重点課題対応の推進 ▶中長期的な技術開発・商品開発方針・計画の策定・推進
生産・品質担当	グループ全体の生産工場、生産部門を統括する役割(連携・統制)を担う。 ▶グループ全体の生産配置・生産戦略・品質向上にかかる方針・計画の策定・推進
各市場統括 (市販用・業務用・海外)	担当市場のグループ会社・部門を統括する役割(連携・統制)を担う。 ▶経営方針に基づく担当市場の方針・計画の策定・推進 ▶担当市場における商品戦略、販売戦略の策定・推進
各担当・統括共通	▶担当領域・市場が向かうべき大きな方向性(長期構想)の設定 ▶担当領域・市場における経営資源配分(組織人員、経費・投資)の策定 ▶後継人材の選抜・育成